新潟県立自然科学館指定管理者審査委員会

審査結果報告書

令和８年 11 月

新潟県立自然科学館指定管理者審査委員会

新潟県立自然科学館指定管理者審査委員会の審査結果について

新潟県立自然科学館指定管理者指定申請の審査結果を別紙のとおり報告します。

令和８年 11 月 17 日

新潟県立自然科学館指定管理者審査委員会
委員長　　桐生　徹

はじめに

「新潟県立自然科学館指定管理者審査委員会」（以下「審査委員会」という。）は、新潟県立自然科学館の指定管理者候補の選定を公平かつ適正に実施するため設置された。

このたび、その審査結果を踏まえ、新潟県立自然科学館指定管理者の指定申請を行った団体の中から指定管理者候補を選定したので、審査委員会における選定方法及び審査結果について、公表するものである。

１　指定管理者候補の選定方法

(1) 審査の基本方針

新潟県立自然科学館の指定管理者は施設の管理運営を全般的に行うことから、申請者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価し選定する必要があり、指定管理者候補の選定に当たっては、申請者からの提案内容について総合的に評価することとした。

(2) 審査委員会の構成

新潟県立自然科学館の指定管理者候補の選定を公平かつ適正に実施するため、平成18年7月20日付けで定めた要綱に基づき、次の７名の委員を構成員とした。

委員長	桐生　　徹	（上越教育大学大学院学校教育研究科教授）
委　員	石田　直樹	（石田直樹公認会計士事務所代表　公認会計士）
委　員	荻野　真美	（新潟県小学校長会副会長（新潟市立小針小学校長））
委　員	野口　一則	（株式会社シアンス相談役）
委　員	山岸　芳夫	（新潟工科大学工学部工学科教授）
委　員	鷲頭　　正	（新潟県社会保険労務士会　特定社会保険労務士）
委　員	萬歳　真紀	（新潟県観光文化スポーツ部文化課長）※採点には加わらない

(3) 審査委員会の開催

①第１回　令和８年７月24日（金）

内容：審査委員会の設置に関する事項

新潟県立自然科学館指定管理者募集要項、選定基準等の検討　等

②第２回　令和８年10月22日（木）

内容：申請者によるプレゼンテーション及び質疑応答

申請内容の審査、採点及び指定管理者候補者の選定　等

２　審査の概要

⑴ 形式審査

申請のあった以下２者について、県が応募資格要件に係る審査を行った結果、資格要件を満たしていることを確認した。

【申請者名】
株式会社コングレ
公益財団法人科学技術広報財団

⑵ 内容審査

・形式審査通過者からの提案説明及び審査委員との質疑応答を実施した。
・各委員が選定基準に基づき採点した結果を踏まえ、指定管理者候補者の選定について協議した。

３　選定結果

選定基準に基づく審査及び審査委員会における協議の結果、株式会社コングレを指定管理者候補の第１順位として選定した。（申請者の評点は別紙のとおり）

【総評】

両申請者とも、当施設の特性や現状を踏まえた提案内容となっており、今後の施設運営に対する方向性が十分示されていた。両申請者の評価は僅差であったが、合計得点で上回った株式会社コングレを選定した。

・　株式会社コングレ

全国の類似施設の運営で培った知見を活用し、施設の魅力向上や利用促進に向けた新たな取組を積極的に提案しており、今後の発展が期待できる。

・　公益財団法人科学技術広報財団

これまでの運営実績を踏まえて施設の課題を的確に分析し、その解決に向けた具体的かつ実現性の高い改善策を提案しており、効果的な運営が期待できる。

【別紙】審査結果

1　基礎項目

選定基準	審査の視点	(株)コングレ	（公財）科学技術広報財団
住民の平等利用の確保	・自然科学館条例を理解し、住民の平等利用が確保されているか ・自然科学館の設置目的に合致した管理運営方針となっているか	適	適
管理体制と人材の配置	1　必要な箇所に正規職員を配置し、労働法令の遵守や適切な雇用・労働条件の確保がなされているか	適	適
	2　指揮命令系統が明らかで責任体制が明確か	適	適
個人情報保護、情報公開	・個人情報保護や情報公開への対応が適切か	適	適
危機管理	・施設の危機管理、安全対策が適切で具体的に示されているか	適	適
環境への配慮	・省エネルギーやゴミの削減、リサイクル促進等、環境に配慮した方針が示されているか	適	適
県内雇用への配慮	・施設運営に必要な人員確保について県内雇用を優先的に行う方針が示されているか	適	適
財務状況	・施設管理を継続できるだけの経営基盤を有しているか	適	適

２　提案項目

選定基準	審査の視点	得点	(株)コングレ	(公財)科学技術広報財団
合　　計		310	234.00	230.60

住民の平等利用の確保	自然科学館の設置目的を理解し、施設運営における意欲が示されているとともに住民の平等利用が確保されているか		8.70 ／10	8.00 ／10
	1　設置目的と事業計画の整合が取れており、公立文化施設として料金設定や利用方法が適切か	5		
	2　施設の管理者としての責務を自覚し、新たな管理者として積極的に取り組む意欲が示されているか	5		
利用者の増加、サービスの向上	施設運営の提案が、利用者の増加及びサービス向上に資する内容となっているか		54.30 ／70	53.80 ／70
	1　利用者の利便性の向上や利用促進に向けた具体的な取組が提案されているか	15		
	2　1の提案の内容が適切で、利用者の増加と利便性の向上に結びつくものか	15		
	3　利用料金、開館時間、休館日等、指定管理者の提案により更なる施設の有効活用を図ることが可能な内容について具体性があるか	5		
	4　利用者にとって必要な情報の提供や利用促進に効果的な広報の取組が示されているか	10		
	5　県民の科学の知識普及、学習活動に対する支援・相談体制が確保されているか	5		
	6　施設を活用した自然科学に関する知識や情報の普及などの取組があるか	5		
	利用者の意見・要望の把握手法が適切で、施設運営に反映されているか			
	1　定期的な利用者意見の把握方法が具体的に示されているか	5		
	2　利用者の意見(苦情を含む)を施設運営に反映させる積極性があるか	10		

選定基準	審査の視点	得点	(株)コングレ	(公財)科学技術広報財団
自然科学知識普及事業等の実施方針	**自然科学知識普及事業等の業務が魅力的かつ具体的、現実的で、自然科学館の設置目的に資する内容となっているか**			
	1 自然科学館の設置目的に沿った自然科学知識普及事業の実施が検討されているか	15		
	2 提案の実現に向けた取組が具体的に示されているか	10	**51.30**	**53.00**
	3 提案の内容が、施設利用者をはじめ県民のニーズを把握し、実施しようとする取組であるか	15	／65	／65
	4 提案の内容が利用者サービスの向上及び入館者の増加に資する取組であるか	15		
	多様な主体との連携に対する取組が検討されているか			
	1 自然科学知識の普及活動に積極的な多様な主体(県民、ボランティア、企業、NPO、他の文化・教育施設等)との連携について具体的な取組が検討されているか	10		
適切かつ効率的な維持管理	**将来にわたり、施設機能の維持、向上が図られるよう、適切な管理水準が確保されているか**			
	1 現状の管理水準を維持・向上させる手法が明確で、その内容に適切な根拠があるか	10		
	2 経費の効率的な執行についての効果的な提案があり、適切な根拠があるか	5		
	3 修繕の実施について積極性があるか	15	**30.50**	**31.30**
	施設の管理者としての自己点検、評価への取組が適切か		／40	／40
	1 自己点検、評価基準が具体的に示されているか	5		
	2 自己点検、評価、モニタリングへの対応方針に積極性があるか	5		
環境への配慮	**環境に配慮した具体的、現実的な提案があるか**		**4.00**	**3.80**
	1 省エネルギーやゴミの削減、リサイクル促進等、環境に配慮する具体的、現実的な提案があるか	5	／5	／5
県内の産業振興等への配慮	**県内の産業振興や雇用確保に配慮した内容となっているか**		**3.70**	**3.70**
	1 県産品の優先調達等、県内の産業振興及び雇用確保に配慮する具体的、現実的な提案があるか	5	／5	／5

選定基準	審査の視点	得点	(株)コングレ	(公財)科学技術広報財団
収支計画	**管理に係る経費の縮減に取り組むと共に、収支積算が妥当で事業計画との整合性が図られているか**		**47.00** ／70	**44.30** ／70
	1　指定管理料の比較	20		
	2　利用料金収入見込の比較	10		
	3　利用料金収入の確保を図る提案は具体的かつ現実的か	10		
	4 仕様に基づき、公の施設の管理運営上必要な経費が適正に見積もられているか	10		
	5 提案された事業計画との整合性が取れた収支バランスとなっているか	10		
	6 利用料金収入以外のその他収入の手段を検討し、管理運営経費の節減に取り組もうとする提案があるか	10		
管理体制と人材の配置	**文化施設の機能を充分発揮する管理実施体制が、具体的で適切な内容となっているか**		**15.20** ／20	**15.00** ／20
	1　施設の利用実態を考慮した適正な職員を配置し、労働法令の遵守や適切な雇用・労働条件の確保がなされているか	5		
	2　管理業務の一部を再委託する場合、再委託業者の監督に必要な専門職員を配置しているか	5		
	施設管理機能や管理技術の水準を向上させる体制を確保しているか			
	1　研修や資格取得等の計画について具体的な提案があるか	5		
	2　1の計画が管理機能、管理技術を向上させるうえで効果的か	5		
類似業務の実績	**自然科学館等、大規模な文化施設または類似施設の管理実績はあるか**		**8.80** ／10	**8.00** ／10
	1 管理実績とその内容（年数、施設の管理運営状況など）	5		
	2 自然科学知識普及事業の実績とその内容	5		
応募者ならではの優れた提案の有無	**上記配点以外に特に加点すべき提案か**		**10.50** ／15	**9.70** ／15
	1 特に魅力ある提案であって、配点（満点）以上の評価が相当か（1項目に付き2点まで加算、5項目まで）	10		
	2 評価項目以外で特に優れた提案があるか （例;県内でも比較的遠方に居住する者に対する自然科学知識普及活動の提案、学校と連携した児童生徒に対する学習指導要領に沿った科学館活用の提案　等）	5		